海の声（BEGIN）

本調子

| | | |

海の声（BEGIN）

本調子

えて　くる　きみの　ころ　ころした　わらい　ご

工	○	五	○	中	上	四	○	合	○
上	中	合	中	七	六	○	五工	四	○

え　こえに　だせば　とどき

中	○	工	合	中	上	四	○	合	○
上	中	合	中	七	六	○	五工	四	○

そう　で　きょうも　うたってる

工	○	五	○	合	○	尺	○	工	○
合	○	工	○	合	○	工	○	合	○

うみの　こえに　のせて

工	○	合	○	工	○	五	○	工	○
尺	工	○	七	六	工	四	七	五	四

そらの　こえが　きき

工	尺	工	○	七	六	工	四	中	工
五	四	七	六	工	四	中	七	六	五

たくて　かぜの　こえに　みみ

五	工	工	四	中	上	中	合	中	七
六	○	五工	○	四	五	工	○	四	○

すませ　うみの　こえが　しり

上	四	上	合	七	六	工	合	七	六
工	四	中	工	五	四	中	工	五	四

た　くて　きみの　こえを　さが

五	工	工	四	中	上	中	合	中	七
六	○	五工	○	四	五	工	○	四	○

し　てる

上	○	四	○	七	六	工	四	中	工
工	四	五	四	五	四	中	工	五	四

中	上	中	合	中	七	六	工	四	七
六	工	四	七	六	工	四	中	工	五

中	上	中	合	中	七	六	○	五工	○
四	工	工	四	五	四	上	○	四	○

海の声（BEGIN）

本調子

なみの　なかに　うかんで
○○○中上四○合○上○合○中○

はきえる　こどものように　むじゃきな　わら　がお
工○五○中上四○合○上○合○上○

たとえ　ぼくが　おじいさんにな
中○工合中上四○合○上○合○中○

ってもここで　うたってる
工○五○合○尺○工○合○工○尺○

きみだけを　おもって
工○合○工○五○七五○工○合○

うみの　こえよ　かぜのこ
工尺工○七六工○七六工四中工五○

えよ　そらの　こえよ　たいようのこ
五工工四中上中○七六○五工○四○

えよ　かわの　こえよ　やまのこ
上四上合七六工四七六工四中工五四

えよ　ぼくの　こえを　のせて
五○工○中上中○中七六○五工○四○

ゆけ　うみの　こえが
上○四○○○○七六工○七六工四

しり　たくて　きみの　こえを
中工五○五○工○中上中○中七六○

さが　してる
五工○四○上○四○○○○中工○○

海の声（BEGIN）

本調子

	○	○	○	○	七	六	工	○	○	○	○	中	工	○	○

	○	○	○	○	七	○	六	○	工					

一、空の声が　聞きたくて
風の声に　耳すませ
海の声が　知りたくて
君の声を　探してる

会えない　そう思うほどに
会いたい　が大きくなってゆく
川のつぶやき　山のささやき
君の声のように　感じるんだ

目を閉じれば　聞こえてくる
君のコロコロした　笑い声
声に出せば　届きそうで
今日も　歌ってる
海の声にのせて

空の声が　聞きたくて
風の声に　耳すませ
海の声が　知りたくて
君の声を　探してる

波の中に浮かんでは消える
子供のように無邪気な笑い顔
たとえ僕が　おじいさんになっても
ここで　歌ってる
君だけを想って

海の声よ　風の声よ
空の声よ　太陽の声よ
川の声よ　山の声よ
僕の声を　乗せてゆけ

海の声が　知りたくて
君の声を　探してる